

2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月10日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 俊介
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 中井 俊宏 TEL 06-6343-2600
 四半期報告書提出予定日 2019年7月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の連結業績 (2019年3月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	8,971	1.1	103	△27.9	110	△23.3	△127	—
2019年2月期第1四半期	8,872	—	144	—	144	—	△102	—

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 △143百万円 (—%) 2019年2月期第1四半期 △84百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	△7.50	—
2019年2月期第1四半期	△6.02	—

(注) 当社は、2018年2月期より決算期を12月31日から2月末日に変更しております。これに伴い、2019年2月期第1四半期 (2018年3月1日から2018年5月31日) は、比較対象となる2018年2月期第1四半期 (2017年1月1日から2017年3月31日) とは対象期間が異なるため、2019年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	33,783	23,347	65.9
2019年2月期	34,775	24,340	66.9

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 22,262百万円 2019年2月期 23,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期 (予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年2月期の連結業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	2.4	4,020	△2.1	4,030	△2.2	2,050	0.6	120.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 当連結グループの売上高は11月前後の七五三の時期に集中することから下半期に偏重しており、上半期の業績予想が極めて困難な状況にあります。したがって、第2四半期連結累計期間の業績予想を公表しておりません

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期1Q	17,185,650株	2019年2月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	201,485株	2019年2月期	201,482株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期1Q	16,984,166株	2019年2月期1Q	16,984,232株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調であった一方、海外経済情勢の不確実性等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,971百万円（前年同期比1.1%の増加）、営業利益は103百万円（前年同期比27.9%の減少）、経常利益は110百万円（前年同期比23.3%の減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失は127百万円（前年同期は102百万円の親会社に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、入園入学・卒園卒業撮影、並びに、お節句（桃のお節句、端午のお節句）撮影を推進するとともに、5月1日から「早撮り七五三キャンペーン」、5月9日から「七五三お出かけ着物レンタル予約」を開始いたしました。そのほか、更なる件数獲得に向け、「イースターキャンペーン」や映画「ダンボ」の公開に合わせた期間限定のディズニーキャンペーンを実施いたしました。

国内子ども写真館の出店状況は、移転7店舗を含み9店舗出店、退店3店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を18店舗実施いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館511店舗（直営店舗501店・フランチャイズ店舗10店）、韓国の子会社における子ども写真館2店舗を含め、513店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は8,910百万円（前年同期比0.7%の増加）、セグメント利益は111百万円（前年同期比の51.1%減少）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、前年に開設した京都府京丹後市の和装縫製工場において、当社向け衣装の生産を本格的に進めていくとともに、成人振袖レンタル事業の更なる売上規模拡大に向け、常設店舗での展示予約会、並びに、当社店舗等での期間限定展示予約会を実施し、受注件数の獲得に努めました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は653百万円（前年同期比19.2%の増加）、セグメント利益は106百万円（前年同期比248.2%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ992百万円減少し33,783百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ2,316百万円減少の13,891百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産「その他」に含まれている投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,324百万円増加の19,891百万円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ0百万円増加し10,435百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比べ172百万円減少の6,289百万円となりました。

固定負債は、固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ172百万円増加の4,145百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ992百万円減少し23,347百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、2019年4月10日に公表いたしました連結業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,426,638	9,485,740
受取手形及び売掛金	758,476	953,435
たな卸資産	1,658,869	1,529,464
その他	1,396,405	1,951,838
貸倒引当金	△31,855	△28,535
流動資産合計	16,208,533	13,891,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,250,025	8,251,798
その他(純額)	4,371,613	4,559,450
有形固定資産合計	12,621,638	12,811,248
無形固定資産	1,307,295	1,352,540
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,408,898	3,423,702
その他	1,459,030	2,533,637
貸倒引当金	△230,063	△230,063
投資その他の資産合計	4,637,865	5,727,276
固定資産合計	18,566,800	19,891,065
資産合計	34,775,333	33,783,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,260	267,744
短期借入金	—	1,050,000
未払法人税等	1,180,231	167,651
賞与引当金	129,858	74,862
その他	4,925,746	4,729,513
流動負債合計	6,462,096	6,289,771
固定負債		
退職給付に係る負債	1,046,810	1,064,246
資産除去債務	1,679,836	1,705,321
その他	1,246,126	1,375,939
固定負債合計	3,972,774	4,145,506
負債合計	10,434,871	10,435,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	19,505,786	18,529,174
自己株式	△276,152	△276,159
株主資本合計	23,171,033	22,194,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△8,996
為替換算調整勘定	100,548	77,223
その他の包括利益累計額合計	100,548	68,226
非支配株主持分	1,068,880	1,085,089
純資産合計	24,340,461	23,347,730
負債純資産合計	34,775,333	33,783,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	8,872,475	8,971,547
売上原価	6,661,246	6,826,439
売上総利益	2,211,228	2,145,108
販売費及び一般管理費	2,067,057	2,041,216
営業利益	144,171	103,891
営業外収益		
受取利息	536	552
受取家賃	4,499	5,599
雑収入	9,226	9,243
営業外収益合計	14,262	15,396
営業外費用		
支払利息	3,051	3,679
店舗解約損	1,703	4,129
為替差損	2,776	189
雑損失	6,521	529
営業外費用合計	14,053	8,528
経常利益	144,380	110,760
特別損失		
固定資産廃棄損	54,489	79,125
減損損失	107,001	110,502
特別損失合計	161,490	189,627
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,110	△78,867
法人税、住民税及び事業税	140,850	106,226
法人税等調整額	△73,473	△73,899
法人税等合計	67,377	32,326
四半期純損失(△)	△84,488	△111,194
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,757	16,209
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△102,245	△127,403

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純損失(△)	△84,488	△111,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△8,996
為替換算調整勘定	255	△23,325
その他の包括利益合計	255	△32,321
四半期包括利益	△84,232	△143,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,989	△159,725
非支配株主に係る四半期包括利益	17,757	16,209

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年3月1日 至2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,845,481	26,993	8,872,475	—	8,872,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	177	521,684	521,861	△521,861	—
計	8,845,658	548,678	9,394,337	△521,861	8,872,475
セグメント利益	228,669	30,700	259,369	△115,198	144,171

(注) 1. セグメント利益調整額△115,198千円には、固定資産の調整額等△64,807千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△50,390千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては107,001千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2019年3月1日 至2019年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,904,875	66,672	8,971,547	—	8,971,547
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,463	587,314	592,778	△592,778	—
計	8,910,339	653,987	9,564,326	△592,778	8,971,547
セグメント利益	111,895	106,890	218,786	△114,894	103,891

(注) 1. セグメント利益調整額△114,894千円には、固定資産の調整額等△59,265千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△55,629千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては110,502千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。